

平成 26 年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催報告
(1 部会：子ども支援部会)

■子ども支援部会

◆開催日時

【第 2 回】平成 27 年 3 月 9 日（月）

◆メンバー 13 人

かわなみ作業所父母の会、大垣市肢体不自由児・者 障害児・者父母の会、
大垣市手をつなぐ親の会、大垣市柿の木荘保護者会、パン工房ドリーム保護者会、
ひまわり学園親の会、日本自閉症協会西濃・大垣市ブロック、重症心身障害児・者
親の会、大垣特別支援学校 P T A

◆テーマ

- ・計画相談支援について
- ・短期入所の利用について

◆部会の内容（主な意見や課題等）

- ・事務局から、計画相談の目的や実際の手続き方法を説明し、医療的ケアの必要な方々の短期入所先について、意見交換をおこなった。
- ・手帳を持っていない方や、会に属していない方などは、計画相談のことを知らないのではないか。
⇒市の広報やホームページなどで周知が必要である。
- ・発達障がいを持っていることがわかった時点で、一生を通しての支援、体制づくりが必要なのではないか。
⇒今後も、関係機関の支援を繋ぐツールであるスマイルブックを活用し、子どもから大人まで支援を繋げていく体制づくりが必要である。
- ・市内に、医療的ケアが必要な子どもの短期入所の受け入れ先がない。
⇒市外ではあるが、さくら苑、関ヶ原病院で短期入所の受け入れを始めている。利用者がいなければ事業所は増えていかないので、まずは普段から利用していただき、緊急時に利用しやすい体制づくりをお願いしたい。今後も事業所との調整が必要である。